

■長谷川平蔵 幕臣。盗賊逮捕に敏腕振い、無宿人更生の人足寄場を創設するも挫折。「鬼平犯科帳」の主人公。
はせがわへいぞう
徳川吉宗隠居1745＝ 火付盗賊改を務める平蔵宣雄の嫡子に生まれる。

徳川吉宗没・1751＝ 6歳：

山脇東洋解剖1754＝ 9歳：

大岡忠光没・1760＝15歳：

・・・・1763＝18歳：

小身といえども器量拔群と評され、

久留米藩工事1768＝23歳：_將軍家治にお目見得。

_火付盗賊改としてすぐれた業績を上げた父が、

田沼意次老中1772＝27歳：_京都町奉行になったのに従い、京都に上るが、
大原騷動・・・1773＝28歳：_京都で父が死去、家督を相続する。遺産を使って遊蕩にふけたという。
解体新書・・・1774＝29歳：西の丸書院番士となり、

・・・・1781＝36歳：

意知刺殺事件1784＝39歳：西の丸徒士頭に進んだ。

田沼意次失脚1786＝41歳：西の丸先手弓頭、
寛政改革始・1787＝42歳：_火付盗賊改加役を命ぜられると、遊蕩時の体験と禁止されていた目明しを使うことなどによって多くの盗賊を捕らえる。

初の横綱・・・1789＝44歳：*定信が無宿人対策のため、数年前存在した無宿養育所に類する施設の開設を発案したとき、平蔵はみずからその任を引き受けることを申し出て具体案を上申し、定信とともにプランを作成した。

異学の禁・・・1790＝45歳：*正式に人足寄場取扱を命ぜられ3ヵ月弱で施設を完成、収容者に生活を賄うに足る収入の得られる作業を与え、寛厳要を得た取扱いによって彼らの更生に努めた。乏しい予算の中で短期間に寄場の基礎を固め、運営を軌道に乗せたのは、彼ならではの功績であった。しかし奇計の人ともいわれた彼の人柄は定信と必ずしも相いれず、また病のため、

ラッスン来日・1792＝47歳：*わずか2年半後、人足寄場取扱の職を辞し、

松平定信引退1793＝48歳：_以後、火付盗賊改としての職務に専念。病中將軍から懇ろの見舞いの言葉と薬を賜っている。

写楽・・・1795＝50歳：_没した。
池波正太郎「鬼平犯科帳」の主人公。